

議会だより

板野町 ITANOTOWN

<http://www.town.itanofokushima.jp/add/gikai/>



目次

- ～令和7年第11回臨時会～ごみ処理環境組合から脱退を可決!
- P2～P3 提出議案
- ～令和7年第2回定例会～
- P4～P5 提出議案
- P6～P9 一般質問
- P10～P11 全員協議会報告
- P12 議会のうごき など

VOL 10

2025.9.5

板野西幼稚園
みんなで藍染め体験。
すてきな作品が出来上がりました。

ごみ処理環境組合から脱退を可決！

板野町議会は、去る8月8日に開催された臨時会において、阿波市・板野町・上板町の1市2町で組織する中央広域環境施設組合からの脱退に関する議案を全会一致で可決しました。玉井町長の「予算の積算根拠や施設稼働後のランニングコストが示されない組合に残るより、脱退してごみ処理にかかる費用を町で試算し、町民に示す方がより良い選択だと思った」という提案理由に議員12名全てが賛同しています。かねてより中央広域環境施設組合（以降、組合）に対する不信が一部議員より追求されてきましたが、1市2町の長年の関係性や具体的な代替案が計画できなかったことなどから、新ごみ処理施設の稼働に関する予算を可決してきました。ですが、令和6年6月の定例会で議案となった山口県へのごみ運搬費用の議案審議で、このまま組合に任せているのはリスクが高いと多くの議員が危機感を持ち、新処理施設の予算審議に備えて検討してまいりました。議会から組合に対する詳細ヒアリングや質問に対する回答要求などを行いましたが、予算可否を判断できる情報はほぼないに等しく、脱退に向けた勉強会、各議員による調査などを重ね、今回の議決に至りました。

脱退した後、板野町はどうするの？

板野町単独でごみ処理施設を整備して運営するか、ごみ処理をしている施設に委託するかなどを選択することになります。ごみ処理施設は、自治体が運営している施設と民間が運営している施設があります。自治体が建設し運営している施設を「公設公営」、民間企業が建設し運営している施設を「民設民営」といいます。複数の選択肢がある中、建設費などの初期費用やランニングコストを考えると、玉井町長も報道で言及していた民設民営の施設に委託する形が現実的選択ともいえます。議会としては、今後どのような方式を選択するか、東根新町長や環境生活課の職員とともに検討していきたいと考えています。

板野町のごみが滞ることはないの？

現在の板野町のごみは、組合の一員として阿波市の積替施設（元焼却場を改造した施設※詳しくはP10参照）でコンテナに積み替え、山口県まで運搬し焼却をしています。脱退表明から2年は組合を抜けることができない規約となっており、山口県での焼却は令和10年3月31日まで継続することとなります。



令和7年第1回板野町議会臨

これまでの経緯

7月17日【全員協議会】

阿波市・板野町・上板町、1市2町で同日に全員協議会を開催し、中央広域環境施設組合より、新ごみ処理施設整備事業について、今後のスケジュールや施設概要、施設整備費、敷地造成費、土地賃借料等について、総額92億8,500万円との説明があったが、事業費が高額になった根拠の説明がなく、また、運営費についても組合側から金額の提示がなかった。

7月29日【議員勉強会】

議員勉強会を開催し、ごみ処理施設整備費にかかる板野町の負担額や単独整備・民間処理委託などについて検討した。

8月4日【議会運営委員会】

8月8日【全員協議会・臨時会】

全員協議会で議案の説明、その後の臨時会において、「議案第1号中央広域環境施設組合からの脱退について」を全会一致で可決した。

中央広域環境施設組合からは、7月17日、「トンネルコンポスト方式」のごみ処理施設建設予算92億8,500万円が提示されました。これだけ莫大で専門知識を要する予算にもかかわらず、短期間で審議し、議決することが議会に求められました。また、再三要求していたランニングコストも不明のままでした。当然審議できるはずもなく、臨時会は先延ばしとなりました。議会では、全国的にも実例の多い“ストーカ式焼却炉”（強い火で効率的に燃やし灰にする方式）の建設予算を概算。ストーカ炉の耐久年数を40年として長期的スパンで比較し、脱退を検討する際の判断材料のひとつとしました。

議決結果について

今回の議決は判断材料が少ない中、板野町の将来に少しでも負担をかけない選択を議員各々で考え脱退の道を選びました。これから東根新町長や職員には大きな負担をかける選択であると感じています。ですが、最善の選択となるように議会も共に新しい道を模索提案していく所存です。報道を見聞きしてご不安の方もいらっしゃるかと思いますが、今回の選択をご理解のほどお願いいたします。

松浦 昶 議員

中央広域環境施設
組合議会議員に選任

● 専決処分の承認を求めることについて
板野町議会議員及び板野町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について

条例改正

脱退を選択した大きな要因

中央広域環境施設組合が選択しているのは「トンネルコンポスト方式」。廃棄物を焼却せずに、微生物の力で発酵・分解させて処理する方式です。初期費用が抑えられ、二酸化炭素も出ない理想的な方式ということで、令和元年、組合の方式として採用されスタートしました。ですが、当初73億円だった建設費は92億8,500万円に膨れ上がっています。また、発酵処理後に残る残渣プラスチックを処理するためにリサイクル工場に運ぶ費用やリサイクルされた商品（又は燃料）を販売先に運ぶ費用、最終残渣物を処理する費用など、ごみ処理のランニングコスト以外に、更に大きなコストが増える見込みです。組合では、その詳細がまだ何も決まっていません。



例会提出議案

会期は 6 月 3 日～6 月 12 日
合計 14 案件 (報告 4 案件・議案 10 案件)
全て可決されました。

令和 7 年度板野町一般会計補正予算 (第 1 号)

8,530 万円 追加

《 主な補正の内容と補正額 》

- ◆住民税等定額減税補足給付金給付事業……………7,764 万円
住民税等定額減税に関連したシステム改修委託料及び給付金等
- ◆映画 P R 事業負担金……………250 万円
映画「道草キッチン」P R 実行委員会に対する負担金
- ◆高齢者補聴器助成金……………60 万円
65 歳以上の高齢者の方を対象に補聴器購入の補助
- ◆副校長・教頭マネジメント支援事業等……………381 万円
副校長・教頭マネジメント支援事業等に係る支援員の人件費
- ◆教材備品購入代……………3,132 万円 (使用料及び賃借料からの組替え)
GIGA スクール事業に係るソフトウェアについて、複数年のライセンス購入契約を行うため

令和 7 年度板野町一般会計補正予算 (第 2 号)

352 万円 追加

- ◆空調設備設置工事……………195 万円
町民センター 2 階のホールに設置
- ◆特別会計繰出金……………157 万円
水道使用料免除の減収額に対し、物価高騰重点支援地方交付金を充てるため水道事業会計へ繰出し

令和 7 年度板野町水道事業会計補正予算 (第 1 号)

収益的収入 157 万円 追加

- ◆他会計補助金 (歳入)……………157 万円
一般会計からの繰入れ
- ◆企業債利率を 3.0%以内から 5.0%以内に引上げ
近年、企業債の借入利率が上昇傾向にあることから引上げを行うもの。

令和7年第2回板野町議会定

条例改正

● 専決処分の承認を求めるところについて

板野町税条例の一部改正について

正誤について

地方税法の改正に伴う

もの。主な改正点は、個人住民税の令和8年度課

税分から「特定親族特別

控除」を追加し、大学生

年代の子等の給与収入限

度を引き上げるなど、

控除対象を拡充。また、

身体障がい者等の軽自動車

税減免申請時に免許証

の代わりに、免許情報の

記録されたマイナンバー

カードの提示でも申請を

可能とするもの。

● 板野町公共下水道条例

の一部改正について

標準下水道条例におい

て、大規模災害等の非常

時に市町村長が認めた場

合、他の市町村長の指定

を受けた指定工事店であ

っても、排水設備等の

工事を可能とする改正が

行われたことに伴い、本

条例にも同様の改正をす

るもの。

● 専決処分の承認を求め

るところについて

板野町国民健康保険税

条例の一部改正について

地方税法の改正に伴う

もの。主な改正点は、課

税限度額の見直しと低所

得者に係る軽減措置の拡

充を図るもの。

● 板野町重度心身障がい

者等に対する医療費の

助成に関する条例の一

部改正について

徳島県のひとり親家庭

等の父または母の助成対

象が令和7年10月診療分

より通院及び入院に拡大

されたことに伴い、本町

においても助成対象を拡

大するため、条例を改

正するもの。

● 板野町特別職の職員で

非常勤のもの報酬及

び費用弁償に関する条

例の一部改正について

選挙長、選挙立会人等

の報酬額について、上位

法の「国会議員の選挙等

の執行経費の基準に関す

る法律」に掲げる額とす

ること、同法に定める

報酬額が改正された場合

においても条例を改正す

ることなく対応を可能と

するもの。

その他

● 令和6年度板野町一般

会計継続費繰越計算書

の報告について

クリーンセンター整備

事業において45万円の繰

越しを行うもの。

● 令和6年度板野町一般

会計繰越明許費繰越計

算書の報告について

住民情報ネットワーク運

営事業において1,410万

円、町民センター整備事業

として2,961万円、中央

広域環境施設組合負担金と

して3,362万円など、合

計11件、1億3,446万

円の繰越しを行うもの。

● 徳島県市町村総合事務

組合規約の変更について

徳島県市町村総合事務

組合を組織する地方公共

団体である「松茂町ほか

二町競艇事業組合」が名

称変更することに伴い、

規約の変更が必要となり

一部改正を行うもの。

● 令和7年度板野町小中

学校学習用コンピュータ

機器一式購入に係る

契約の締結について

小中学校学習用コン

ピュータ機器一式購入の

ための契約

締結を行う

もの。

※P10～11

参照



板野町固定資産評価員の選任に同意

永井 英孝 氏

● 中央広域環境施設組合

からの吉野川市の脱退

に伴う財産処分について

吉野川市が脱退するこ

とに伴うもの。

各提出議案の詳しい内容は、板野町ホームページに掲載の会議録をご覧ください。

質問事項：大学生の消防団入団について

消防団入団の 資格要件とは！



くすもと ちぐさ
楠本 千草 議員

問

現在、板野町には五つの分団があるが、20代の若い世代の団員は数えるほどである。南海トラフ地震のリスクが高まっている現在、若い世代の知恵と行動力は必要不可欠だ。

板野町には、徳島工業短期大学がある。大学生が消防団に入団すれば、はかり知れない効果が生まれると思っている。板野町には、消防団に入団する条例・資格要件はあるか。

答

板野町消防団員の任用については、「板野町消防団の定員、任免、給与、職務等に関する条例」第3条において、団長が資格を有する者のうちから、町長の承認を得

て任命することと定められている。同条で、団員となるための資格として定めている要件は、次の3点である。

- 一つ、当該消防団の区域内（すなわち、板野町内）に居住している者又は勤務する者。
- 一つ、年齢満18歳以上である者。
- 一つ、志操堅固かつ身体強健な者。

問

徳島工業短期大学に、県内の学生だけでなく、県外からの学生また留学生を対象に消防団に入団する意思があるかどうかを問い合わせたところ、女子が3名、男子が数名の希望者がいた。2年間、消防団で活動することにより、地域社会の安全を守る重要な

役割を担い、住民と積極的に関わり交流を図ることは、板野町にとっても、学生にとっても有益ではないかと考えられる。徳島工業短期大学と板野町は、地域防災の向上に向けた連携を強化し、災害発生時に避難所として活用するための協定を締結している。このように防災への取組が整備されている徳島工業短期大学の学生に是非、我が町の消防団に入団してもらいたいと思っ

ている。板野町に住民票があれば、県外からの学生や留学生の入団は可能か。

答

学生又は留学生の方についても、三つの要件を全て満た

している方であれば、入団は可能である。団員の減少や高齢化対策の一環として、現在は町内居住者に限定されるが、徳島工業短期大学の学生・留学生が消防団に入団していただけるよう、町からもお願いをしている。町外に居住し町内の学校に通学する18歳以上の学生等で、本町消防団への入団を希望する方については、条例改正が必要となるので、今後、検討してまいりたい。

その他の質問

● 町民センターのトイレについて

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：ごみの減量化について

ごみ減量化に向けた取組を！



いしだ みおる
石田 実 議員

問

現ごみ処理施設での焼却処理は、地元との協定で20年間、令和7年7月末までとなっている。しかし、期限までには新ごみ処理施設は出来ず、新施設が出来るまでの2年8か月間、ごみ処理は山口県萩市まで搬送しなくてはならず、積替保管のための施設の改造や運送処理など費用は約35億円ともいわれている。

ごみになるものを分別回収し、ごみ処理費用を縮減する必要がある。そこで専門家などを招いて、ごみ減量化・分別について研修会をしてはどうか。

答

板野町消費生活相談所において、毎年、道の駅「いたの」

で、食品ロス削減への取組講座を開催している。環境生活課からも講師として参加し、ごみの減量化と地球温暖化対策というテーマでわかりやすく説明し、ごみの減量につながるお話しをする機会を増やしていきたい。専門的な講師による講座なども消費生活相談所と協議しながら、検討したい。

問

ごみではなく分別ができれば資源につながる。何よりも1点でも多く分けることができる。ごみの減量化、経費の軽減、環境にも配慮したことになる。

歯ブラシなどのプラスチック製品を回収してはどうか。

答

歯ブラシやスプーンなど個別のプラスチック製品のリサイクルについては、再生利用を行う製造メーカーや回収団体また近隣市町の取組状況など、回収量や運搬方法・処理費用など情報を収集し、今後の検討課題とする。

問

環境問題は、将来の生活において避けて通れない問題である。学校での環境学習について聞きたい。

答

小学校では、主に4年生と6年生の社会科と家庭科の授業において、ごみの「分別」と「減量」について学習をしている。子どもたち自身が未来に向けて、できる

ことを考え、実践する力を育てている。

併せて環境負荷を減らす基本的な考え方である「4R」「リデュース（減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（再生して使う）」更には「リファューズ（発生させない）」についても学習している。ごみを減らす大切さと意識の向上を図っている。

その他の質問

- 文化の館・図書館での催しについて
- 古文書について

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。



質問事項：

ごみ削減に向けた周知・取組みについて

みんなでごみ削減に向け意識改革を！



ふじた ちほ 議員
藤田 千穂 議員

問

現在、板野町は山口県でごみを焼却する予定としており、10トトラック1台につき40万円の多大な運搬費が発生する。ごみ削減を広く周知し、協力を仰ぎ運搬費を削減できれば、大切な税金を別の住民サービスに回すこともできる。板野町がピンチである状況を説明し、多くの方にごみ削減に協力いただく必要がある。どのような広報をしているか聞きたい。

答

生ごみ処理機購入補助金及び資源ごみ回収団体報奨金それぞれの金額引上げのお知らせと、ごみ削減のお願いを板野町HPと6月号の広報紙にチラシを同封し、周

問

告知内容を見たが、山口へのごみ運搬等の詳細説明がなく、危機的状況をどれだけの方に理解いただけたか疑問が残る。楽なことから大変なことへ意識を変えるのは大変だが、一人一人がごみ問題を自分ごととして行動につなげることが大切。役場と議員が丸となって、ごみ削減の協力を直接周知する出前授業を検討できないか。

答

議員各位による学校等への出前授業について、町として協力できるよう検討

問

ペットボトルはリサイクルしやすい優秀なプラスチック。また、家庭から出る燃やせるごみの約25%は雑紙(チラシ、パンフ、包装紙、紙箱、紙袋、封筒など)といわれる。これらのリサイクル率を上げれば、町の燃やせるごみを大幅に削減可能。ペットボトルや雑紙の回収方法を改めて検討する予定はあるか。

答

ペットボトルは、町民ふれあいプラザ・南公民館の3か所で現在、回収しているが、

その他の質問

● 学校図書室の活用支援について



学校など増やせるよう検討する。雑紙は、学校単位など団体で新たな回収場所を検討する。

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：板野町養護老人ホームについて

入所希望者へ 幅広い選択肢を！



みはら だいすけ
三原 大輔 議員

問 板野町の養護老人ホームの概要の

説明をしてもらいながら質問していきたい。

答 まずは、現在の板野町養護老人ホームの利用状況は。

再問 定員に対して、半数以下の入所しかない。定員割れをしている理由は。

答 昨今では介護保険法の成立とともに、高齢者向けのサービス付き住宅なども普及しており、いろいろな選択肢の幅が広がってきたのではないかと考えている。

問 施設が古くなってきているので、選

ばれにくいというのもあるのではないかと思ったり。

答 「入所判定委員会」において措置の可否について、判定を行う。現在、板野町養護老人ホームは、定員に空きがあり、原則として、板野町の住民の方は板野町養護老人ホームへの措置となる。

再問 ほかの市町村の新しい養護老人ホームなどもある。そこへの希望は、なぜだめなのか。理由を聞かせていただきたい。

答 板野町の措置と老人ホームが定員で空きがありますので、そ

ちらへ措置をさせていた

問 板野町が決定する措置で、本人の希望は聞かないということですね。

答 次に、板野町養護老人ホームの築年数を教えていただきたい。

再問 現在の耐震基準とかに照らし合わせて大丈夫なのか。17人の方が寝泊まりされている。耐震基準について、お答えいただきたい。

答 もう70年経過しており、耐震診断、工事を当然しな

ればいけない。ただ、財政面もあるので、改修といっても、計画的に進めていかなければならない。

再問 他の耐震基準に適合した施設も選べるように、養護老人ホームを本人が選択できるような形に今現在してみてもどうか。

答 すぐに改修等ができないのであれば、いろいろな選択肢というのでも必要かと思われるので、これからの検討課題にさせていただきます。

その他の質問

● 新ごみ処理施設建設事業について

● カスタマーハラスメント対策について

全員協議会報告

6月3日開催、全員

協議会での各担当課からの報告内容等をお知らせします。



積替保管施設について

令和7年8月以降、中央広域環境センターでのごみ焼却処理は行わない。積替保管施設として改造し、ごみを施設外へ搬出して処理を行う。



中央広域環境センター

での積替保管の概要

- ①積替作業は、工場棟のごみピット前プラットホームを利用する。まず、ごみ収集車から可燃ごみを荷下ろしし、コンベアを利用して、水密容器に投入、バックホーで容器の中に押し込む。満杯になった容器はリフトを利用して、容器を入れ替える作業を繰り返し行う。
- ②臭気対策は、既存のエアカーテンに加え、噴霧器を設置し、消臭剤を噴霧する。また、積替えを行うコンベアにも噴霧器を設置し、直接可燃ごみに消臭剤を噴霧する。満杯となった水密容器に蓋をして、当日又は翌日に施設外へ搬出する。
- ③ごみの運搬方法は、ウイング車を7台使用し、1台につき約10tのごみを積み込んで、1日最大70tのごみを搬出する予定である。



広域斎場整備事業について

広域斎場整備事業請負契約について仮契約を

締結

石井町・神山町・板野町の3町で進めている広域斎場整備事業について、設計・施工等を請負う企業グループを公募型プロポーザルにより募集、広域斎場事業者選定委員会を選定委員として板野町からも参加し、審査を行い、合格となったため、石井町において契約保

～仮契約の内容～

- 建設業務
「株式会社 奥村組 四国支店」
- 設計及び工事監理業務
「株式会社 内藤建築事務所」
- 契約金額（全体）
31億9,000万円うち、板野町負担額9億7,530万円
令和7年度中は施設の設計を行い、令和8年度・9年度に建設工事を行う。



町民センター2階ホール空調機設置について

町民センター2階ホールに空調機2基を設置

町民センター2階、エレベーターを降りてすぐのホールに空調機を設置するための予算補正について、説明があった。



工事費見込額（2基）195万円



小中学校学習用コンピュータ機器一式購入に係る契約の締結について

小中学校学習用コンピュータ合計940台

購入
現在使用しているタブレット端末は、令和3年度から児童生徒に979台、現状991台の運用を開始し、端末の耐用年数である5年を迎えることから、令和7年度当初予算で5,700万円を計上している。購入に当たっては、公立学校情報機器整備費補助金、補助率は3分の2、1台当たり5万5,000円を活用するが、共同調達による端末の購入が補助の要件に定められていることから、5月23日、県で

共同調達的一般競争入札が執行され、本町を含む郡内全ての町と勝浦町・神山町の7町の学習用コンピュータ(Chromebook) 機器一式の購入業者及び購入金額が決定したため、5月30日に仮契約を締結、議会の議決を経た後、本契約を締結する。

契約の方法は、徳島県との共同調達(一般競争入札)に伴う、地方自治法施行令第167条の2第1項第6号による随意契約となる。



～仮契約の内容～

- 会社名
「テルウェル西日本株式会社」
- 契約金額
3,989万3,513円(1台あたり4万2,440円)
- 納入機種
ASUS Chromebook (11.6型)
- 納入台数
合計 940台
東小学校：382台 中学校：307台
西小学校：116台
南小学校：135台



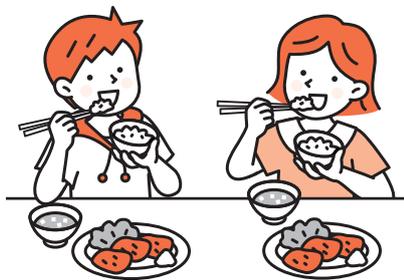
物価高騰重点支援地方創生臨時交付金

物価高騰重点支援地方創生臨時交付金の追加交付限度額について

交付金の追加交付限度額は751万9,000円。交付金の充当事業は、当初予算で「水道使用料の2か月分免除」と「学校給食費保護者負担分の1年間免除」の2事業で、それぞれ当初交付金充



当後の一般財源部分に充当するため、一般会計及び水道事業会計予算の補正の追加提案を提出。水道事業会計については、この予算の追加補正の中で、交付金に係る補正のほか、企業債の借入れ利率を現行の「3%以内」から「5%以内」に条件を引き上げる補正も行う。長年続いた低金利政策が解除され、市場の金利が上昇してきたことに対応するもの。

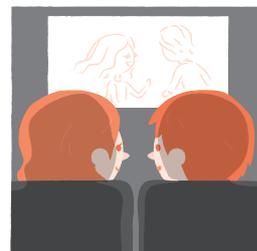


町制施行70周年記念映画「道草キッチン」

映画公開のスケジュールの報告あり

町制施行70周年記念映画「道草キッチン」について、東京では11月22日の公開予定、その後、全国の劇場でも順次公開されるとのこと。また、東京での公開に先駆けて、徳島での先行公開を11月7日よりイオンシネマ及びサンシャイン北島で上映する。なお、常任委員協議会においては、キャロットケーキを配布

する案など、この映画のPR方法についての協議も行われた。



道草キッチン

中江 有里

金井 浩人 村上 穂乃佳 本間 淳志
フナム、ティ、フォン、タオ 荒木 知雄
芝 博文 仁科 貴
大塚 まさじ / 今 陽子

エンディング曲
「月の光」演奏：石井 琢磨

脚本：白羽 弥仁・知 愛
監督：白羽 弥仁 (映画「ディリジブル」の脚本家)

徳島の大地とベトナム料理が響く記憶の物語

2025年11月7日(金)～ 2025年11月22日(土)～
シネマサンシャイン北島 新報ケイシネマ徳島
イオンシネマ徳島にて先行公開 順次全国公開

更年期症状に悩む50歳独身の桂木さん。
この先どうして生きていこうかしら。



令和7年度町村議会議長・副議長研修会

5月27日、東京国際フォーラムにおいて、「令和7年度町村議会議長・副議長研修会」が開催されました。内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援）松本真太郎氏による「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な『防災DX』」、明治大学名誉教授青山侑氏による「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」、同志社大学名誉教授新川達郎氏による「災害と議会・議員の役割」という災害がテーマの、3つの研修を聴講しました。

議会のつぎき・出席行事等

4月

- 9日 板野東・西・南小学校入学式
- 板野中学校入学式
- 14日 徳島市議会正・副議長来訪（就任挨拶）
- 18日 板野郡町議会議長会定例会
- 26日 阿波市市制施行20周年記念式典
- 29日 藍住町町制施行70周年記念式典

5月

- 9日 議会広報特別委員会
- 13日 松茂町議会正・副議長来訪（就任挨拶）
- 20日 北島町議会正・副議長来訪（就任挨拶）
- 21日 ポートレース議会臨時会
- 24日 板野東・西・南小学校運動会
- 26日 議会運営委員会
- 27～28日 徳島環状道路建設促進期成同盟会第33回総会

6月

- 30日 町村議会議長・副議長研修会（東京都）
地元国会議員意見交換会
板野郡町議会議長会研修会
板野町商工会総会
- 3日 6月議会定例会1日目（開会・町長提案理由説明等）
議員全員協議会
厚生常任委員協議会
産業建設常任委員協議会
総務文教常任委員協議会
6月議会定例会2日目（一般質問）
6月議会定例会3日目（議案審議・閉会）
議会広報特別委員会
県議長会役員選挙委員会臨時総会
25日 板野町戦没者追悼式
28日 鳴門病院へリポート完成記念式典内覧会
29日

編 集 後 記

板野町議会だよりも10回目となりました。議会の定例会ごとに出稿して2年6か月になり10回目となりました。1回2回目より、だいぶん見やすく読みやすくなりましたが、まだまだ委員会としては勉強をかさね、より内容を深く確実にし、町民の皆様喜んでいただけるよう頑張ります。

議会広報特別委員会委員長
東條 昭二

議会だより意見募集

議会だよりを、より充実した内容にするため、町民の皆様のご意見を募集します。議会だよりについてご意見いただける方は、下記の連絡先（電話・メール・FAX）まで、お願いいたします。

傍聴のご案内

定例会は、3月・6月・9月・12月に開催します。議場でどのような発言をしているのか、お越しいただき、お確かめください。お問合せは議会事務局まで。

電話 088（672） 5991